



ポリリック
シリーズ

ホーム-378-378P

取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は大切に保管し、必要なときに読み返してください。

安全上のご注意 必ずお守りください

けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください

- 警告** 誤った取り扱いをしたときに、使用者または第三者が死亡や重傷を負うおそれがある内容
- 注意** 誤った取り扱いをしたときに、使用者または第三者が軽症を負う危険や物的損害の発生するおそれがある内容

警告

- ①無理な姿勢で作業しないで下さい。常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。高所作業時には安全帯着用等の安全衛生規則に則った作業をしてください。
- ②作業時の服装には十分注意し、袖やズボンのすそ等が巻き込まれないようにしてください。
- ③目に切粉が入らないよう、保護メガネを必ず着用してください。また、粉じんの多い作業では、粉じんマスクを併用し、騒音の大きい作業では、耳栓やイヤーマフ等防音保護具を着用してください。
- ④指定された用途以外に使用しないでください。また、改造や分解は絶対にしないでください。
- ⑤作業中は振り回さないように、電動工具を両手で確実に保持してください。
- ⑥高所作業では切削片の飛び出し、落下の危険がありますので、十分注意してください。
- ⑦カッター、センタードリルの着脱時は、ばねにより押し出される構造になっています。落下・破損に注意してください。高所作業では特に注意してください。
- ⑧穴あけ直後のカッターや切削片は熱くなっています。火傷をしないよう保護手袋等を着用してください。ただし、カッター回転中は巻き込まれる危険がありますので、保護手袋は着用しないでください。
- ⑨カッター及びセンタードリルの着脱時は、保護手袋を着用し、刃先やセンタードリルでけがや火傷をしないように、注意してください。
- ⑩カッター着脱時ストッパーは、ばね力で強く押し出されますのでジャンクとストッパーの隙間に手や指を挟まれないように注意してください。
- ⑪製品の着脱時は電動工具の電源を必ずコンセントから抜いて作業を行ってください。
- ⑫ご使用になる電動工具の「取扱説明書」をよく理解された上で、ご使用ください。

注意

- ①使用する製品・サイズにあった電動工具を使用してください。
- ②電動工具は回転モード以外で使用しないでください。ハンマー（打撃）・振動モードでの使用はカッター及びセンタードリルの破損の原因となります。
- ③穴あけ途中は、絶対に回転を止めないでください。（刃先が噛み込み、抜けなくなる場合があります）回転を止める場合は、カッターを穴あけ対象物から引き抜いた後で止めてください。途中で回転を止めた場合は、回転を止めたままゆっくりカッターを引き抜いて下さい。
- ④切削片がカッターから出にくい場合はカッターをジャンクから外し、棒状の物で刃先側へ押し出して下さい。
- ⑤1穴毎にカッター内の切削片、切粉を取り除いてから作業をしてください。
- ⑥金属への穴あけは切削油を使用すると切削性がよくなります。
- ⑦厚さ4mmまでの鋼板、ステンレス板、鋳鉄等に36mm以上の穴あけをされる場合は、ボール盤・磁気ボール盤等を使用するとより安全に作業ができます。

本製品について

仕様

カッター	刃先径 (mm)	有効長 (mm)	ふところ深さ (mm)
378	14~120	4	-
378P	15~49	4	30
	50~65	4	58

ジャンク：ポリリックジャンク S、L、X

センタードリル

品名	品番	ドリル径(mm)	カッター	適合刃先径(mm)
センタードリルS6	PC378CDS6	6	378	14~49
センタードリルS	PC378CDS	8		
センタードリルL	PC378CDL	8	378P	50~120
センタードリルS6	PC378PCDS6	6		
センタードリルS	PC378PCDS	8		
センタードリルL	PC378PCDL	8		50~65

ジャンク

品名	品番	適合刃先径(mm)	仕様
Sジャンク	PCSKS	49以下	10mmストレートジャンク
Sジャンク SDSプラス	PCSKSR		SDSプラスジャンク (軽量ハンマードリル用)
Sジャンク 200L	PCSKS200	29~49	10mmストレートロングジャンク
Sジャンク SDSプラス 200L	PCSKSR200		SDSプラスロングジャンク
Lジャンク	PCSKL	50~225	13mmストレートジャンク
Lジャンク SDSプラス	PCSKLR		SDSプラスジャンク (軽量ハンマードリル用)
Lジャンク(10mm)	PCSKLT	50~80	10mmストレートジャンク
Lジャンク 200L(13mm)	PCSKL200		13mmストレートロングジャンク
Lジャンク SDSプラス 200L	PCSKLR200	50~225	SDSプラスロングジャンク
Lジャンク 200L(10mm)	PCSKLT200		10mmストレートロングジャンク
Xジャンク SDSプラス	PCSKXR	50以上	SDSプラスジャンク (軽量ハンマードリル用)

使用条件

《電動工具の適正回転速度の目安》

刃先径 (mm)	回転速度 (min ⁻¹)	
	鉄	ステンレス
15	1270~850	1060~530
20	960~640	800~400
30	640~420	530~270
40	480~320	400~200
60	320~210	270~130
80	240~160	200~100
100	190~130	160~80
120	160~110	130~70

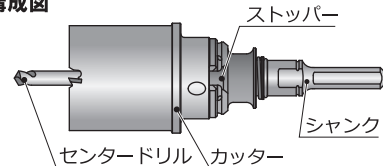
《電動工具の消費電力の目安》

刃先径 (mm)	消費電力
14~49	550W以上
50~80	650W以上
85~120	750W以上

警告 回転モード以外で
使用しないでください。

・刃先径 75 mm以上で手持ち電動工具ご使用の場合は、クラッチ付き電動工具をご使用ください。

構成図



注意：上記は弊社標準条件においての目安です。
被削材の材質や固定方法等により異なります。



ユーザーと共に歩む

株式会社

ミヤナガ

受注センター

受付窓口 ☎0120-81-3875

〒673-0443 兵庫県三木市別所町巴19番地

商品お問い合わせ窓口 ☎0120-3875-14

URL <http://www.miyana.co.jp>

F A X ☎0120-3875-17

4955720-7

《378Pでのパイプサイズと穴あけ可能最大肉厚早見表》

カッター刃先径 (mm)	パイプ外径(mm)																	
	30	40	50	60	70	80	90	100	110	120	130	140	150	200	250	300		
15	6.0	5.5	5.2	5.0	4.8	4.7	4.6	4.6	4.5	4.5	4.4	4.4	4.4	4.3	4.2	4.2		
20	5.0	6.7	6.1	5.7	5.5	5.3	5.1	5.0	4.9	4.8	4.8	4.7	4.7	4.5	4.4	4.3		
25	2.5	7.5	7.3	6.7	6.3	6.0	5.8	5.6	5.4	5.3	5.2	5.1	5.0	4.8	4.6	4.5		
30		5.0	9.0	8.0	7.4	6.9	6.6	6.3	6.1	5.9	5.8	5.6	5.5	5.1	4.9	4.8		
35		2.5	7.5	9.6	8.7	8.0	7.5	7.2	6.9	6.6	6.4	6.2	6.1	5.5	5.2	5.0		
40			5.0	10.0	10.3	9.4	8.7	8.2	7.8	7.4	7.2	6.9	6.7	6.0	5.6	5.3		
45			2.5	7.5	12.2	10.9	10.0	9.3	8.8	8.4	8.0	7.7	7.5	6.6	6.0	5.7		
50				5.0	10.0	12.8	11.6	10.7	10.0	9.5	9.0	8.6	8.3	7.2	6.5	6.1		
53				3.5	8.5	13.5	12.6	11.6	10.8	10.2	9.6	9.2	8.8	7.6	6.8	6.4		

※表の見方…刃先径50mmのカッターで穴あけ対象パイプ外径120mmの場合、肉厚が9.5mm未満のパイプに穴あけ可能。

使用方法

- ①「使用条件」の欄を参考に、刃先径に適した電動工具をご使用ください。
- ②シャックを電動工具に取り付けてください。
- ③カッターを取り付けない状態で右頂の「センタードリルの着脱方法」をご覧になり、センタードリルをシャックに取り付けてください。
- ④穴あけ位置中心にセンタードリルを当て、電動工具を回転させセンタードリル穴をあけてください。
(センタードリル貫通後にカッターが被削材に急激に当たるのを防ぐために、先にセンタードリル穴だけをあけてください)
- ⑤カッターのシャックへの取り付けは下頂の「カッターの取り付け方法」を参考にしてください。
※Sシャック仕様のカッターで刃先径20.9mm以下を取り付ける場合は、「防塵キャップ」をはさないと取り付けできません。
- ⑥カッターが被削材に接した後、切削が安定するまで2~3秒程度ゆっくりと切り込んでください。
- ⑦穴あけ完了後、カッターは回転させたまま引き抜いてください。
- ⑧切削片がカッターより出しにくい場合は、カッターをシャックから外し棒状の物で刃先側へ押し出してください。

●防塵キャップ

- ・ポリクリックシャック(S・L・Xシャック)には、センターピンやセンタードリル挿入口へ切粉が入るのを防ぐために防塵キャップが付いています。(下図)
- ・防塵キャップを装着したまま、センターピン・センタードリルの着脱が可能です。
(Sシャック仕様のカッターで、刃先径20.9mm以下の場合には必ずしてください)
- ※単品での発売も行っています。

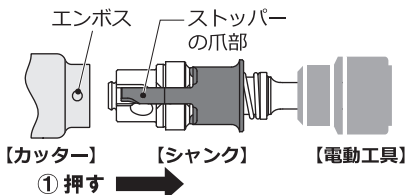
Sシャック用 : 品番 PCBCS
L・Xシャック用 : 品番 PCBCL

防塵キャップ

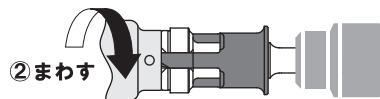


●カッター取り付け

- ① 電動工具にシャックを取り付けてください。
- ② カッターのエンボス(丸型凸部)をシャックのストッパーの爪部に合わせ、そのままカッターをシャック側(矢印①)に押し込んでください。
注 カッターとシャックに付着している切り粉やごみ等の異物は取り除いてください。

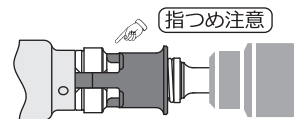


- ③ カッターをシャック端面まで押し込んだ状態で、カッターを刃先側から見て右方向(矢印②)に回してください。



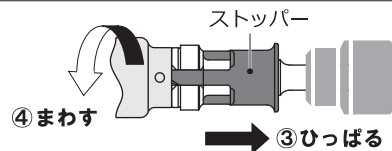
- ④ カチッと音がして、カッターがシャックに固定されます。最後にカッターを引っ張って、しっかりと固定されたことを確認してください。

注 指を挟まれケガをするおそれがありますので、ストッパーの付近に手を添えないでください。



●カッター取り出し

- ① シャックのストッパーを電動工具側(矢印③)に引き上げた状態で、カッターを刃先側から見て左方向(矢印④)に回してください。



- ② ストッパーを引っ張っている力を少しずつ緩めてください。カッターがストッパーによって押し出され、取り出せます。

注 ストッパーから手を離すとカッターが飛び出しますので、ご注意ください。特に、高所作業時は落下の恐れがありますので注意してください。



●センタードリルの着脱方法

- ① センタードリルをシャックに挿入してください。
- ② センタードリルを回転させながら押し込むと、シャック内の突起とセンタードリルのL型溝の位置が合い、センタードリルはさらにシャックの奥まで入ります。
- ③ センタードリルを奥まで押し込んだ状態で、さらに刃先側から見て右方向(矢印③)に90度回転させて、センタードリルを固定してください。
- ④ 取り付け後、センタードリルを引っ張っても抜けない事を確認してください。
注 センタードリルのシャック挿入部にグリスを塗布してください。センタードリルL型溝の変形が軽減されます。
- ⑤ 取り外す時は、センタードリルを軽く押し込みながら、刃先側から見て左方向に90度回転させて抜き取ってください。(センタードリルは押し込みすぎると回転しません)

